

『新しい植物分類体系 APG でみる日本の植物』

正誤表

本書に多数の誤りがありました。読者のみなさま、著者のみなさまにはたいへんご迷惑をおかけいたしました。お詫びし、下記の通り訂正いたします。

p. 11 図1

本書では *Pyrus* の属和名をナシ属としています。そのため、「リンゴ属」を「ナシ属」に訂正します。

p. 16 図4

円内下から4行目の「クサギカズラ目」は、正しくはクサスギカズラ目です。

p. 34, 36, 40, 42, 44, 48, 52, 54, 56, 70

コラムの見出し「COLMUN」の綴りは誤りです。正しくは **COLUMN** です。

p. 34 コラム

本文中に3か所、写真キャプション中に1か所ある「半寄生性植物」を、より適切な用語である半寄生植物に訂正します。

p. 40 コラム

後から3行目にある「エングレー体系」は、正しくは新エングレー体系です。

最終段落は、文意がわかりにくかったので、次のように訂正します。

ユキノシタ科では、上位分類群である目にも大きな変動があった。旧ユキノシタ科はバラ目に属していたが、APG体系ではユキノシタ目が新設され、ユキノシタ科はここに含められた。ユキノシタ目には一五科が知られており、そのうちの二科が日本に生育する。新エングレー体系との比較では、三科が新たに設けられ、バラ目からは四科が、オトギリソウ目、モクレン目、フウロソウ目、フトモモ目からそれぞれ一科が移動してきている。

p. 41 コラム図

ニシキギ目とユキノシタ目を構成する科の内訳が逆になっています。正しくは、ニシキギ目はニシキギ科のみ、ユキノシタ目がユキノシタ科・スグリ科・ズイナ科・タコノアシ科となります。

p. 44 コラム写真とキャプション

写真5（ニシキギ）と11（ウメバチソウ）の位置が逆になっています。APGにより、ウメバチソウはニシキギ目に移動し、ニシキギと近いなかまであることがわかりました。

p. 45

「ユキノシタ科を飛び出し他の目の新たな科に移動した例」「新エングレー体系の他の目からユキノシタ目に移動した例」の番号に誤りがあります。次のように訂正します。

8 → 6 9 → 7 10 → 8 11 → 9 12 → 10

図中の線上にある番号には誤りはありません。

p. 47 図5

タイトルと図中の「レンプクソウ科」は、正しくはガマズミ科です。また、系統樹下から2番目の「旧オミナオシ科」は、正しくは「旧オミナエシ科」です。

p. 49 コラム本文

1行目末の「二〇一八年七月の」は、正しくは「二〇一七年七月の」です。

p. 49 コラム 図のキャプション

「レンプクソウ科に加わった植物の例」としてありますが、レンプクソウ科はガマズミ科に名称変更されました。「『レンプクソウ科』（現在はガマズミ科）に加わった植物の例」でと変更します。

p. 51 図6

ユリ科ヒメアマナ属の学名「*Gage*」は、正しくは ***Gagea*** です。

p. 53 コラム図

拡大した系統樹下から2番目の「ヤマイモ目」は、正しくはヤマノイモ目です。

p. 54 コラム本文

ワスレグサ属の学名「*Hemerocallis*」は、正しくは ***Hemerocallis*** です。

p. 59 「シキミ科」本文

行末に以下を追加します。

本書では、目の基準名となった属の植物が日本に分布しておらず、またその目内に日本人になじみ深い植物が含まれるときには、その属名を目名として使用した。そのため、**Austrobaileyales** には「アウストロバイレア目」ではなく、「シキミ目」という名前を与えている。

p. 60 「イイギリ科」本文

文意がわかりにくかったので、次のように訂正します。

従来のイイギリ科は多系統であるという意見は以前からあった。分子系統学的に検討した結果、イイギリ科の一部は別系統であることが明らかになって、東南アジア産のダイフウシなどはアカリア科に移された。

また同時に、従来のヤナギ科が移動せずに残ったイイギリ科内の一群として含まれることが明らかになったため、両者は一つの科に統合された。科の名称はヤナギ科を用いることになったため、イイギリ科は消滅した(図8)。

旧イイギリ科に含まれていた植物は、花の形態は旧ヤナギ

科とはあまり似ていないが、葉の形態や、サリシンという化学成分を含むことなどの共通点も見られる。

p. 62 図 12

「アカバナ科」の枝は本文に関係しないので削除します。

p. 62 図 14

図中の「ムクロジ科」, 「カエデ科」, 「トチノキ科」を旧ムクロジ科, 旧カエデ科, 旧トチノキ科とします。

p. 64 本文 3 行目

「腐生植物」を, より適切な用語である菌従属栄養植物に訂正します。

p. 65 「シナノキ科、アオギリ科」本文

文意がわかりにくかったので、次のように訂正します。

従来のアオイ科自体はほぼ単系統で大きな問題はなかったが、アオイ科に近縁なアオギリ科、シナノキ科、パンヤ科はすべて多系統であった。

シナノキ科ではシナノキを含む群とラセンソウを含む群は別の系統であった。アオギリ科も、カカオやノジアオイの群、アオギリとゴジカの群は、サキシマスオウノキを含む他のアオギリ科の群とは別系統であった。しかも、アオギリ科のカカオの群とシナノキ科のラセンソウの群が近縁であるなど、両科で認識された系統群を科をまたいで再編成する必要が生じた。このように複雑な系統関係があるため、すべてをアオイ科として、その中に認識される単系統群を九重科とした(図(図 19、20))。

p. 66 「ミクリ科」本文

冒頭の「ミクリ科とガマ科は」の部分「旧ミクリ科と旧ガマ科は」に訂正します。

p. 72 本文 2 行目・図 26

「ピクトデンドロン科」は、正しくは「ピクロデンドロン科」です。

p. 72 「トウダイグサ科とミカンソウ科」本文

行末に以下を追加します。

また、ハツバキ属とツゲモドキ属はツゲモドキ科として分離された(図 25)。この科は他の旧トウダイグサ科と同じキントラノオ目に入るが、APG体系ではトウダイグサ科やミカンソウ科とは異なる系統群に属している(一〇七ページの系統樹を参照)。

p. 74 「アサ科とニレ科」本文

文意がわかりにくかったので、次のように訂正します。

従来のニレ科は、ムクノキやエノキが含まれるエノキ亜科と、ニレ属が含まれるニレ亜科に分けられていた。分子系統解析の結果、エノキ亜科とニレ亜科は系統的に異なることが明らかになった。

新エングラータ体系ではクワ科に含まれていたアサ属とカラハナソウ属は、クロンキスト体系では独立したアサ科とされていた。分子系統解析の結果、クロンキスト体系のアサ科は従来

のニレ科エノキ亜科の系統の中に含まれることとなった(図 30)。

これらのことから、旧アサ科を含むエノキ亜科はニレ科から出され、アサ科とされることとなった(図 29)。

パラスポニア属(図 30)は、マメ科ではないが、窒素固定を行う根粒菌と共生することが知られている。

p. 78 本文

4 行目「独立させられていたものである」は、正しくは「独立させられていたものである」です。

p. 81 本文

本書では Smilacaceae の科和名をシオデ科としていますが、9 行目の「サルトリイバラ科等も含み」を「シオデ科等も含み」に訂正します。

p. 86 本文・p. 87 図 4

本書では Asparagales の目名をクサスギカズラ目としていますが、86 ページ本文 10 行目と図 4 中の「キジカクシ目」を「クサスギカズラ目」に訂正します。

p. 92 後から 5~2 行目

「また、園芸店で~ヤマノイモ科に含まれている」の部分をタシロイモに関する記述を削除します。

p. 95 図 11 パイナップル科の説明

2~3 行目「イネ目のと植物としては」は、正しくは「イネ目の植物としては」です。

p. 97 本文

2~3 行目「モクレン目やクスノキ目より後に前に分岐している」は、正しくは「モクレン目やクスノキ目より後に分岐している」です。

p. 101 図 17

図のタイトル「ヤマモガシ目内の科およびアワブキ科の系統関係」は、正しくは「ヤマモガシ目内の科の系統関係」です。

p. 102 本文

3~4 行目「オトギリソウ目、モクレン目、ナデシコ目、フユロソウ目、フトモモ目」は、正しくはオトギリソウ目、モクレン目、ナデシコ目、フユロソウ目、フトモモ目」です。

p. 128 本文

5 行目「窒素固定能をもつバクテリアとの共生は、」は、正しくは「窒素固定能をもつバクテリアとの共生は、」です。

p. 130 写真 1

イネ科パイナップル目の食虫植物 *Catopsis berteroniana* として掲載しましたが、誤同定であることがわかりました。

p. 133 図 9

モウセンゴケ科ハエトリグサ属とモウセンゴケ科ムジ
ナモ属の食虫方法に誤りがありました。

ムジナモ属 (誤) 袋罨式 → (正) はさみ罨式

パイカウツギ属, シマユキカズラ属, バイカアマチャ
属を「ユキノシタ科」と表示していますが, 正しくは「ア
ジサイ科」です。

付録 iv ページ

ウラジロエノキ属の学名が「*Terma*」となっていますが,
正しくは「*Trema*」です。

付録 xx ページ

スズメハコベ属を「ハマウツボ科」と表示していますが,
正しくは「オオバコ科」です。

付録 ix ページ

2章コラム, 3章, 4章に掲載した被子植物全体の系統樹に誤りがありました。以下に示す系統樹に訂正します (訂正があった箇所に★マークを付しています)。

